

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	高山市立花里小学校		
実 施 期 間	平成26年6月6日(金)～12月		
実 施 概 要	<p>○1年生児童が保育園へ訪問し年長児童と遊びの交流をする。</p> <p>○2年生児童と地域の長寿会の方との交流会をする。</p> <p>○4年生児童が学校の伝統である『はなのき太鼓』を受け継ぎ、演奏活動を通して地域の一員としての自覚を持ち、地域との交流を深める。</p> <p>○5年生児童が地域の伝統芸能である「はなさと獅子」の継承をする。</p> <p>○隣接する高山工業高校と6年生の交流(実習授業の参観・ものづくり)を通して、ものづくりへの憧れや将来への夢や希望を育む。</p>		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input checked="" type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	2 0 0 人	計 8 0 0 人
	地 域 関 係 者	6 0 0 人	
実 施 状 況	<p>◎1年生 南保育園の年長児童との交流は12月に1回、新入学児童と2月に1回行っている。1年生が考え準備をしたゲーム(紙コップのけん玉づくり・○×クイズ)で遊びの交流を行った。</p> <p>◎2年生 1回目は、長寿会の方から昔ながらの遊び(けん玉、お手玉、コマ回し・笹舟づくり・竹鉄砲や竹馬の乗り方など)を教えてもらい、遊びを通して交流を行った。 2回目は、1回目のお礼に児童が生活科で作ったおもちゃで長寿会の方に、遊び方を伝える活動を通して交流を深めた。 9月15日(月)には、地域の敬老会において、運動会でいったダンスをステージ披露した。</p> <p>◎4年生 上級生から受け継いだ「はなのき太鼓」を、年間を通した4年生の活動の柱としている。 ・各行事における演奏披露 ・地域の『芸能祭』で発表 ・市内の小学校音楽会での演奏発表 など</p> <p>◎5年生 地域の伝統芸能である「はなさと獅子」を学校の伝統として、自覚と誇りをもって受け継ぎ取り組んでいる。 ・入学式で新入児童へ披露 ・春の高山祭において各地区で活動 ・運動会で発表 ・地域の『芸能祭』で発表 ・諸行事など依頼があれば披露</p> <p>◎6年生 高山工業高等学校を訪問し、4つの科の実習の見学と児童が希望する科の生徒とものづくりの体験を行った ・電子機械科(ブルブル芋虫)・電気科(電気のホタル) ・建築インテリア科(写真立て)・機械科(キーホルダー)</p>		

<p>成果及び課題</p>	<p><成果></p> <p>1年生 交流の準備や活動を行うことで自分たちの成長を実感し、年上としての自覚と責任をもたせることができた。保育園児は遊びを通して1年生と仲良くなり、小学校入学に対する不安を少なくすることができた。また、保育園の先生方にも卒園生の成長の姿を見て頂き、職員間の交流ができた。</p> <p>2年生 春の会では、長寿会の方々に教えていただくことを喜び、積極的に動いていた。秋の会、敬老会のステージ発表では「楽しんでもらおう。」といろいろ考えながらゲームづくりに取り組んだ。交流会、ステージ発表と共に、積極的に予行演習を行うなど、喜んでもらおうという思いやりの心情が育った。 長寿会の方々も、参加者を増やしてよりよい交流にしようという温かい心遣いがあった。</p> <p>4年生 講師の先生から「人を大切にすること」「伝統を大切にすること」についてどのような姿勢で臨まねばならないかということまで指導していただいた。熱意ある指導をいただいて、児童の取り組む姿勢がぐんぐん変わっていった。</p> <p>5年生 地域の伝統を守ることの大切さに気付くことができた。獅子舞の学習を通して教えてくださる地域の方の伝統を守ることへの熱い思いと、地域の一員として、地域への愛着心と地域に役立とうとする心も育ってきている。</p> <p>6年生 高等学校との交流を通して、高校生の作品や学習内容を見て知ることができ、進路指導に生かすことができた。高校側の理解もあり、近くて遠かった隣の高校が近くなり、児童の意識（進路）も身近なものとなった。</p> <p><課題> 地域との連携・交流をより深めることが課題。学校と地域で子どもたちを育てるということを大切に、活動の意義を児童にきちんと理解させ、地域の一員としての自覚と責任をもたせていきたい。</p>
---------------	--